

急性毒性試験

8. 急性毒性試験

(1) 急性毒性試験（経口/経皮/吸入：ラット・マウス）

ボスカリドの Wistar ラット及び ICR マウスを用いた急性経口毒性試験、Wistar ラットを用いた急性経皮毒性試験、Wistar ラットを用いた急性吸入毒性試験を実施した。急性経口 LD_{50} はラット及びマウスの雌雄で 5,000 mg/kg 体重超、経皮 LD_{50} はラットの雌雄で 2,000 mg/kg 体重超、吸入 LC_{50} はラットの雌雄で 6.7 mg/L 超であった。（参照 22～25）

代謝物 F49 の Wistar ラットを用いた急性毒性試験を実施した。急性経口 LD_{50} はラットの雌雄で 2000 mg/kg 超であった。（参照 26）

- 急性経口毒性試験 ……口から飲んだ場合の毒性を予測
- 急性経皮毒性試験 ……皮膚に付着した場合の毒性を予測
- 急性吸入毒性試験 ……呼吸器から吸入した場合の毒性を予測

LD_{50} ：半数の動物が死亡する量であり、値が小さいほど急性毒性が強いことを意味する。